

<p>1. 関連会社の概況</p> <p>名称</p> <p>業務の概要</p> <p>機構との関係</p> <p>役員の氏名</p> <p>取引関連図</p>	<p>ケージーベラウ石油開発株式会社</p> <p>インドネシア・パプア州陸上における石油等の探鉱・開発事業。1995年4月、石油公団で探鉱出資対象案件として採択、機構が承継。隣接するウィリアガール鉱区にまたがる大規模ガス田を発見。タングーププロジェクト(LNG)として開発を進め、2009年7月にLNGの第一船を出荷。</p> <p>石油等の探鉱のための出資(石油公団廃止に伴い機構が承継)／石油等の採取のための債務保証</p> <p>代表取締役社長 山口 賢一郎 取締役 西村 智昌 取締役 正木 信 取締役 宮久 浩尚 取締役 井上 裕 取締役 後藤 隆志 監査役 今井 龍太</p> 																
<p>2. 関連会社の財務状況</p> <p>資産</p> <p>負債</p> <p>純資産</p> <p>営業収入</p> <p>経常利益／△経常損失</p> <p>利益剰余金(当期純利益／△当期純損失)</p> <p>※平成28事業年度(決算期12月)財務書類より</p>	<p>28,499,504</p> <p>9,069,795</p> <p>19,429,708</p> <p>8,604,407</p> <p>8,030,447</p> <p>12,394,708 (3,548,645)</p>																
<p>3. 関連会社の基本財産等の状況</p> <p>・機構が保有する関連会社の株式について</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期首</th> <th>増減</th> <th>期末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機構の所有株式数</td> <td>34,600株(49.18%)</td> <td>-</td> <td>34,600株(49.18%)</td> </tr> <tr> <td>取得価額</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>貸借対照表計上額</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※取得価額、貸借対照表計上額欄が空欄となっている理由については連結附属明細書(3)有価証券の明細の(注)をご参照ください。</p>		期首	増減	期末	機構の所有株式数	34,600株(49.18%)	-	34,600株(49.18%)	取得価額	-	-	-	貸借対照表計上額	-	-	-
	期首	増減	期末														
機構の所有株式数	34,600株(49.18%)	-	34,600株(49.18%)														
取得価額	-	-	-														
貸借対照表計上額	-	-	-														
<p>4. 関連会社との取引の状況</p> <p>・関連会社に対する債権債務の明細</p> <p>・関連会社に対する債務保証の明細</p> <p>・関連会社の総売上高とそれに含まれる機構からの発注等に係る金額</p> <p>※ 関連会社との取引は、平成28年4月1日～平成29年3月31日の1年間の取引高を記載しております。</p>	<p>該当なし</p> <p>14,063,833 (石油等の採取のための債務保証)</p> <p>- (機構からの発注等による売上)</p> <p>8,604,407 100.0% (その他の事業売上)</p> <p>8,604,407 100.0% (総売上高)</p>																

(注)「機構」:独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構